

令和2年度 第2学年 理科 年間指導計画 予定年間授業時数： 139時間

使用教科書：大日本図書「理科の世界2年」

使用副教材：吉野教育図書「毎日の確認1・2分野」 新学社「グラフィック理科資料集」

教科の学習目標：

- (1) 自然の事物・現象に進んでかかわろうとする態度を養う。
- (2) 目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探究する能力を育てる。
- (3) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

<学習内容>

学期	学習単元	学習内容
1	大地とその変化	<input type="checkbox"/> 大地の変化について学習する。 <input type="checkbox"/> 地層のつながりから過去を読み解くことを学習する。
	単元1 化学変化と原子・分子	<input type="checkbox"/> 物質の成り立ちについて学習する。 <input type="checkbox"/> 化学変化における化合と酸化と還元について学習する。 <input type="checkbox"/> 質量の保存則と質量変化の規則性について学習する。
2	単元2 動物の生活と生物の進化	■ 細胞のつくりとはたらきについて学習する。 ■ 生命を維持する働きについて学習する。 ■ 運動のしくみや感覚器官、神経のしくみについて学習する。 ■ 生物の進化と動物の仲間について学習する。
	単元3 電流とその利用	<input type="checkbox"/> 回路と電流、電圧、抵抗について学習する。 <input type="checkbox"/> 静電気と電子のはたらきについて学習する。 <input type="checkbox"/> 電流と磁界、誘導電流、交流と直流について学習する。
3	単元4 気象のしくみと天気の変化	■ 気象と私たちの生活、天気の変化について学習する。 ■ 大気中の水蒸気の変化について学習する。 ■ 高気圧、低気圧、気団、前線について学習する。 ■ 日本における大気の動きと四季の天気について学習する。

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと評価します。

観点(全体に対する割合)	観点の趣旨	評価資料
観点1(20%) 自然事象への関心・意欲・態度	電流とその利用、化学変化と原子・分子、動物の生活と生物の変遷、気象とその変化に関する事物・現象に進んで関わり、それらを科学的に探究するとともに、事象を日常生活との関わりでみようとする。	提出物：ファイル 毎日の確認 調べ学習課題
観点2(25%) 科学的な思考・表現	電流とその利用、化学変化と原子・分子、動物の生活と生物の変遷、気象とその変化に関する事物・現象の中に問題を見だし、目的意識を持って観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	定期テスト 小テスト 実験時のプリント
観点3(25%) 観察・実験の技能	電流とその利用、化学変化と原子・分子、動物の生活と生物の変遷、気象とその変化に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身につけている。	定期テスト 小テスト 実験時のプリント
観点4(30%) 自然事象についての知識・理解	観察や実験などを通して、電流とその利用、化学変化と原子・分子、動物の生活と生物の変遷、気象とその変化に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。	定期テスト 小テスト